

幅広く豊かな学びが、仕事の壁を打破する決め手に

長友 祐子さん (写真学科 / 2年次から編入学し4年で卒業)

カメラマンとして幼稚園や保育園でイベント撮影などを行っていましたが、撮影に関してモヤモヤした行き詰まりを感じていたところ、大阪芸大出身の知人から通信教育部があることを教えてもらいました。ここなら壁を突破できる何かがあるのではないかと思ったのが入学のきっかけです。

レポート執筆やスクーリングの日程調整など苦労はあったものの、私にとってはそれ以上に学ぶ喜びや楽しさの方が大きかったです。デジタル写真が主流の中、サイアノタイプなどの古典的な技法やピンホールカメラ作り、暗室作業などの授業はとても面白く、基本に立ち帰ることができました。作品を作るだけでなく展示するまでの過程や思いを形にすることも学び、通信教育部のグループ展「塊展」にも参加。アートプランニングやマネジメント研究等の授業からも大いに刺激を受けて、入学前に感じていた悩みを打ち破れたように思います。

この春から、新生児を撮影する「ニューボーンフォト」の仕事に挑戦します。プライベートでは、卒業制作で扱った祖母の家の撮影を継続するなど自身の作品制作にも取り組み、年に一度は作品展示も行いたい。引き続き写真とじっくり向き合っていこうと思いを新たにしています。

